

岩手日報

2017年4月4日(火)掲載



地域貢献、思い熱く

協力隊、新たに4人着任

栗石

栗石町が探用し、地域づくりと観光振興に携わる地域おこし協力隊員4人が3日着任した。全員が県外出身で、新たな土地での貢献を誓った。

着任したのは病院職員から転身した古山裕二さん(44) 金沢市出身、専門学校で自然保護を学んだ秀島杏奈さん(23) 東京都葛飾

区出身、非政府組織(NGO)で震災復興支援に携わってきた向井清子さん(36)

愛媛県伊予市出身、アウトドア用品メーカーで働いていた江頭理恵さん(53) 福岡県久留米市出身の4人。

古山さんと秀島さんは町企画財政課に配属され、町民が地区別に取り組んでいる地域づくり活動の補佐役

地域おこし協力隊として着任した(左から)秀島杏奈さん、古山裕二さん、向井清子さん、江頭理恵さん

くいし(社長・深谷政光町長)で移住促進などの業務に当たり、江頭さんは観光商工課で観光振興のための組織づくりや市場調査などに取り組む。

特別職非常勤職員として採用。給与は国からの特別交付税で措置される。古山さんは「町民の皆さんと関わる中で地域の良いところを見つけ、発信していきたい」と意気込みを示した。